



メールマガジン「ユニバーサルひょうご通信」第137号
発行：兵庫県ユニバーサル推進課 令和4年1月14日



【今月のピックアップ！】

- ① 「失語症」のことをもっと知って下さい

【手話カフェ】

- ② 「聞こえにくいのかな？」と思ったときには

【募集・イベント】

- ③ 「兵庫ユニバーサルマラソン2022」を開催！
- ④ 「兵庫県障害者芸術・文化祭 美術工芸作品公募展」の開催
- ⑤ 「防災と福祉の連携促進シンポジウム
～地域で取り組む高齢者・障害者の避難支援～」の開催
- ⑥ 盲ろう者・児作品展(2/11～13)
映画「盲ろうをいきる」上映会(2/12～13)
- ⑦ 神鈴会「発声教室」のご案内

【お知らせ】

- ⑧ 「兵庫県障害者アートギャラリー」1月の催し
- ⑨ 【動画配信】ユニバーサル社会づくり動画コンテスト表彰式・みんなの声かけ運動応援協定締結式

【ラジオ】

- ⑩ 「濱田祐太郎のひょうごユニバーサル通信」12月放送内容



①「失語症」のことをもっと知って下さい

今回は、皆さんにあまり知られていない「失語症」についてご紹介します。兵庫県言語聴覚士会の田中会長にお話しを伺いました。

■失語症とは

脳卒中(脳出血や脳梗塞)や交通事故などで脳の言語中枢が損傷し、「話す」「聞く」「読む」「書く」という言葉の機能がうまく使えなくなる状態をいいます。その状態は個人によって様々です。

認知症と間違われることもありますが、認知症との違いは、失語症の方は比較的判断力などは保たれていることが多いです。

■失語症の方とお話しするときは

失語症の方は、自分の思っていること、気持ちを他者にうまく伝えられません。駅でどの電車に乗ったらいいか聞きたいときや、お店で注文するときなどに、言葉がうまく出なくて困ることがあります。そういうときは、失語症の方かもしれないと思い、対面でゆっくりと待ち、短めの文で話をすると良いでしょう。自分も相手もあせらない、あせらせないことが肝要です。

■失語症者のコミュニケーションを支援する人を養成中

失語症者への支援は、家族に頼りきっているのが現状です。そこで平成 30 年度に、県・政令市・中核市と県言語聴覚士会が協力。失語症者のコミュニケーションを支援する人の養成講座を開始しました。以降、毎年講座を開催し、講座を修了した約 70 名を支援者として登録しています。※支援者養成講座は R4 年 4～5 月に募集予定

■県言語聴覚士会 田中会長から

失語症は誰でもなる可能性があり、決して他人事ではないということです。自分あるいは自分の家族が、ある日突然失語症によって、コミュニケーションを遮断されたと想像してみてください。

ひとりでも多くの皆さんに失語症のことを知っていただき、ご理解・ご協力いただけることを願っています。

②【手話カフェ】～聞こえにくいのかな？と思ったときには～

耳は毎日、休みなく働いて、私たちにいろいろな情報を届けてくれています。もし、耳が聞こえにくいと感じたら、早めに医療機関に行きましょう。

だんだん聞こえなくなる場合は気づくのが遅れることが多いです。テレビや音楽を聴くとき、以前より音量を上げないとよく聞こえない、会話の時に声が聞き取りにくい、耳鳴りが気になるなど、何か今までとは違う変化があったら一度は受診して、状況を知るようにしましょう。音量を気にせず、どんどん音を大きくしたり、若いから聞こえなくなるなどないと思って、常時イヤホンをつけていると耳を酷使してしまいます。

急に聞こえにくくなった場合は、すぐに治療しないと聴力が戻らない場合もあります。できるだけ早く診察を受けてください。

聞こえにくくなって、補聴器を着けてみようと考えたり、周りの人から補聴器をすすめられたりする方がおられるかもしれません。

そういう時は、直接お店に行く前に、自分の耳の状態をちゃんと診断してもらってください。聞こえ方は一人一人違います。ただ、音を大きくすれば聞こえるようになるというわけではないので、医師の診断書をもらい、専門の補聴器店で自分の聞こえ方に補聴器を合わせてもらうこと(フィッティング)が大切なのです。買う前に、試しに着けてみるサービス(試聴)をしているところもあります。

高い機械だったのによく聞こえない、補聴器なんて役に立たないなどということにならないようにしていただけたらと思います。

機器や聞こえについてご相談したい場合には、兵庫県立聴覚障害者情報センターもご活用ください。相談や検査は無料です。

■兵庫県立聴覚障害者情報センター

<https://hyogocenter.jp/soudan/kikoe/>

この一年、自分の耳を大切に、身体の休息と同様、耳にも静かな休息の時間を与え、いつも元気な耳で生活していきましょう！

(兵庫県設置手話通訳者)

③「兵庫ユニバーサルマラソン2022」を開催！

障害があってもなくても、13歳以上なら誰でも参加できる車いすのマラソン大会を、赤穂海浜公園で初めて開催します。

種目は、車いすロードレースとユニバーサルリレーの2つです。

ユニバーサルリレーは、障害のない人、知的障害、視覚障害、肢体不自由等の障害のある人等の混合チーム(2人～最大5人)で計 10キロ走ります。個人申込者は、事務局がチーム編成します。ぜひ一緒に走りましょう！

■内容

◇日時 令和4年3月6日(日)

車いすロードレース：午前10時00分スタート

ユニバーサルリレー：午前11時00分スタート

◇場所 県立赤穂海浜公園 特設周回コース

◇競技種目

(1) 車いすロードレース(特設周回コース5周=約10km)

(2) ユニバーサルリレー(特設周回コース5周=約10km)

◇参加料 無料

■申込方法(締め切り2/10(木))

次のエントリーフォームでお申し込みください。または、参加申込書を大会事務局へ郵送してください。

詳細はこちら ↓

<https://www.e-hyogo.elg-front.jp/hyogo/uketsuke/form.do?id=1639468959478>

■お問い合わせは、下記大会事務局まで
兵庫県健康福祉部障害福祉局ユニバーサル推進課
公益財団法人兵庫県障害者スポーツ協会
〒650-8567 兵庫県神戸市中央区下山手通 5-10-1
TEL 078-362-3237, FAX078-362-4090

④「兵庫県障害者芸術・文化祭 美術工芸作品公募展」の開催

兵庫県立美術館で、第 17 回兵庫県障害者芸術・文化祭 美術工芸作品公募展を開催します。絵画、書道、写真、工芸など、魅力あふれる作品の数々を、ぜひご観賞ください。

■内容

- ◇日時 令和4年2月18日(金)～20日(日) (10時～17時半)
※最終日は14時まで
- ◇場所 兵庫県立美術館 ギャラリー棟3階 ギャラリー
(神戸市中央区脇浜海岸通1-1-1)
- ◇入場 無料

■作品の出展を募集中(1/17まで) 詳細はこちら↓

https://web.pref.hyogo.lg.jp/kf10/hw20_00000000_9.html

■お問合せ

ひょうご障害者芸術文化活動支援センター
(兵庫県健康福祉部障害福祉局ユニバーサル推進課内)
TEL 078-362-4090 FAX 078-362-9040
Mail universal@pref.hyogo.lg.jp

⑤「防災と福祉の連携促進シンポジウム ～地域で取り組む高齢者・障害者の避難支援～」

近年、豪雨災害などの大規模災害が頻発しています。

災害時に、高齢者・障害者など支援が必要な方がスムーズに避難するためには、一人ひとりの状況に合わせて事前に「個別避難計画」を作成することが必要です。

今回のシンポジウムでは、災害対策基本法改正を踏まえた、障害者など避難行動要支援者の地域との関わりや、今後の防災と福祉の連携の取組について考えます。

多くの方のご参加をお待ちしています。

■内容

- ◇日時 令和4年2月18日(金)13:00-15:55
- ◇参加方法 WEB配信のみ(YouTubeによるライブ配信)
- ◇参加料 無料
- ◇定員 800名

◇基調講演:テーマ「防災視点の利用者支援の実際は」

◎永田 拓(倉敷地域基幹相談支援センター施設長)

平成30年の西日本豪雨で、私が担当していた知的障害のある母親と幼い娘が命を落としました。「なぜ救えなかったのか」。今も自らに問いかけています。

◇パネルディスカッション

◎パネリスト:立木 茂雄(同志社大学社会学部教授)、重永 将志(内閣府政策統括官(防災担当)付参事官(避難生活担当))、永田 拓

◎コーディネーター:西野 佳名子(兵庫県社会福祉士会事務局長)

■申込方法(締め切り2/14(月))

次のアドレスからお申し込みください

<https://www.e-hyogo.elg-front.jp/hyogo/uketsuke/form.do?acs=0218>

■お問い合わせ先

兵庫県企画県民部防災企画局防災企画課
〒650-8567 兵庫県神戸市中央区下山手通 5-10-1
TEL 078-362-9870, FAX078-362-9914

⑥ 盲ろう者・児作品展(2/11~13)
映画「盲ろうをいきる」上映会(2/12~13)

視覚と聴覚の両方に障害のある盲ろう者の作品展と、映画の上映会を2月に開催します。

作品展では、盲ろう者・児が制作した「さおり織り」や、折り紙を幾何学的に組み合わせた立体作品、俳句などをどうぞご覧ください。

映画は、目が見えない、耳も聞こえない盲ろう者の日常生活を描いたドキュメンタリーです。

通訳・介助員のサポートを受け、買い物や外出を楽しむ盲ろう者の方は徐々に増えています。作品展・上映会を通じて、盲ろう者のことをぜひもっと知ってください。

■盲ろう者・児作品展

◇日時 令和4年2月11日(金)~13日(日)13時~17時

※ただし、映画上映中は入室できません

◇場所 中山記念会館 1階 大会議室(神戸市兵庫区)

■映画「盲ろうをいきる」上映会……要予約

◇日時 令和4年2月12日(土)~13日(日)

開場9時40分、上映10時~12時

◇場所 中山記念会館 1階 大会議室

◇定員 50名(定員に達し次第、締め切ります)

■映画会の申込方法

下記HPからチラシ兼申込書を印刷し、友の会へFAXして下さい。

<http://mar-k01.sub.jp/2022.2.sakuhinten&eiga.pdf>

■お問い合わせ

特定非営利活動法人兵庫県盲ろう者友の会
神戸市兵庫区水木通2-1-9 中山記念会館301
TEL 078-579-7600, FAX078-579-7603

⑦ 神鈴会「発声教室」のお知らせ

喉頭ガンで声帯(『声』)を失った喉頭摘出者の皆さんが、再び新たな『声』を習得するための訓練教室です。

無くした『声』を新しく取り戻すことで、人生で培われたキャリアとスキルを十二分に発揮し、仕事や日常生活でコミュニケーションの輪を広げるために、『声の機能』を特別な発声訓練士が指導します。

喉頭摘出者は、完全に声の機能を失っているため、生涯自身の『声』で喋ることは不可能でした。今は、公認訓練士による訓練を受けることで、新たな『声』を手に入れることが出来ます。訓練士は、喉頭摘出者でなければ出来ません。障害者団体の中でも、健常者が一人も関わらない、世界中で唯一無二の「障害者による障害者のための」リハビリ団体です。

兵庫県喉摘障害者福祉協会・神鈴会は、近年の「障害者差別解消法」の普及啓発活動を担い、「障害の有る人も無い人も」共に支え助け合い、一人一人が個性豊かな力を発揮して、いきいきと生活できるよう、喉頭摘出者の「障害の有る人」側として活動に邁進しています。

また、喉頭摘出者の日常生活の様々な相談にも、喉頭摘出者の経験からアドバイスをを行います。

■最寄りの教室

神戸市(3ヶ所)、西宮市(2ヶ所)、明石市、三田市、姫路市。

■主催・お問い合わせ先

兵庫県喉摘障害者福祉協会・神鈴会会長 藤原信康
TEL 090-2018-4349 FAX 078-577-7781

⑧ 「兵庫県障害者アートギャラリー」1月の催し

神戸市灘区の県立美術館王子分館「原田の森ギャラリー」内にある「兵庫県障害者アートギャラリー」では、3月31日(木)まで「丹南精明園作品展」を開催しています。

絵画や書道、貼り絵やスクラッチアートのほか、オランダに古くから伝わるトールペイントの技法を用いたアッセンデルフトや、色付けした綿棒を挿して描く綿棒アート、絵本やクリスマスツリーなど、多くの作品が彩りを添えています。

障害のある方々が、様々な表現手段を使い、自由な発想で描いた豊かな作品をどうぞご鑑賞ください。

■「丹南精明園 作品展」

1月6日(木曜日)～3月31日(木曜日)

10時～18時まで ※最終日は午後12時閉場

<https://hyogo-arts.or.jp/harada/exhibition/#2438>

⑨ 【動画配信】ユニバーサル社会づくり賞贈呈式・みんなの声かけ運動応援協定締結式

7月開催の「ユニバーサル社会づくり賞贈呈式・みんなの声かけ運動応援協定締結式」の様子を約10分の動画にしました。ご覧下さい。

■「ひょうごチャンネル」<https://hyogo-ch.jp/video/3448/>

◇ユニバーサル社会づくり賞贈呈式

県内のユニバーサル社会を目指した先導的な実践活動を顕彰します。

※毎年4～5月に候補者を募集

◇みんなの声かけ運動応援協定締結式

まちなかで困っている人に声をかけて助けあう「みんなの声かけ運動」を県民運動として推進しています。令和3年度は、コロナ禍であってもユニバーサル理念を継続して普及できるよう、テレビ、ラジオ、情報誌などマスメディアを中心とした企業と協定を締結しました。

⑩ ラジオ「濱田祐太郎のひょうごユニバーサル通信」

12月放送内容

■12月21日の放送内容

<ゲスト> 兵庫県健康福祉部人権参事 小谷寛和さん

<テーマ>「人権文化をすすめる県民運動」

最近、インターネットでの人権侵害、特に SNS 上での誹謗中傷が多くなっています。小谷参事は、「ネットの匿名性からほんの軽い気持ちでした投稿が、人を深く傷つけてしまうことがあることを知ってほしい」と話します。その他、コロナ禍における差別への対策や、ヤングケアラーについてもお話いただきました。

主な相談窓口は次のとおりです。通話料のみで利用できます。

◇人権に関する相談窓口(法務省)

みんなの人権 110 番(全国共通人権相談ダイヤル)

電話番号 0570-003-110

https://www.moj.go.jp/JINKEN/index_soudan.html

◇新型コロナウイルス感染症に関する生活・労働問題法律電話相談
(兵庫県弁護士会)

https://web.pref.hyogo.lg.jp/kf09/jinken.html#bengoshikai_coronadenwa

◇職場でのハラスメントに関する相談(兵庫労働局)

<https://jsite.mhlw.go.jp/hyogo-roudoukyoku/content/contents/202112bokumetsu.pdf>

番組後半は、障害者が作るお菓子のコンテスト「スイーツ甲子園」で令和3年度のグランプリを受賞したジャムをご紹介します。

◇商品名「TAMBA MAGOKORO JAM」

◇製造 県社会福祉事業団 丹南精明園(丹波篠山市)

ミルクジャムを試食したひょうごユニバーサル大使の濱田祐太郎さんは、「ソフトクリームの味がする!」と絶賛でした。

■詳しい放送内容は、ラジオ関西「ラジトピ」に後日掲載しますのでご覧ください。記事と録音でお楽しみいただけます。

■次回のラジオ「濱田祐太郎のひょうごユニバーサル通信」

1月18日(火)15時20分~15時40分

(ラジオ関西「PUSH!」内)

テーマは「男女共同参画社会」(予定)です。

【編集・発行】

イベント情報や、メルマガの配信希望・中止等のご連絡は以下まで
兵庫県健康福祉部障害福祉局ユニバーサル推進課

〒650-8567 神戸市中央区下山手通5丁目10番1号

TEL:078(362)4379 FAX:078(362)9040

Mail:universal@pref.hyogo.lg.jp
